

我が社の得意技 ③⑧  
宇宙に羽ばたく高度な技術と可能性への挑戦

(株)コスにじゅういち西条事業所(ひうち)

2010年6月、7年間に

も及ぶ宇宙飛行を終え地球に帰還した小惑星探査機「はやぶさ」。そのサンプル採取機構の主要部品を、住友重機械工業(株)の依頼で製作したのが(株)コスにじゅういちである。

昭和23年に機械設備関係企業として新居浜市で創業した同社。その後、平成5年に西条事業所を開設し、翌年には現在の名に社名変更した。

昭和40年ころには、アルミニウム精錬工場でのアルミニウム切断・メンテナンス関係を主業としており、それが事業の約8割をも占めていた。

しかし、やがて同社は大きな岐路に立たされる。アルミニウム精錬工場の海外移転により、仕事の大半が霧散してしまつたのだ。

当然、そのままでは経営が成り立たなくなってしまう。絶体絶命の危機に立たされた。しかし、それまでも常に現状に甘んぜず、新たな可能性を探求してきた同社の姿勢がそ

のピンチを救った。

当時、取り組みを始めていたアルミニウムの精密加工や半導体関連の部品加工が、活路を拓いたのだ。当初は充分な機械設備がなかったために外注しながらのものであったが、徐々に新たな設備を導入して順調に事業を進め、ついには困難な局面を乗り越えることに成功したのである。

## 高度な技術の応用による事業強化

## 事業強化

現在では、アルミニウムやマグネシウム合金の精密加工のほか、異種金属の接合など多様な技術を有する同社であるが、中でも最も得意とするのがICチップや液晶テレビの配線材料として使用される「アルミニウム・スパッタリングターゲット」の製造である。住友化学(株)よりの製造委託を受け、今や国内トップシェアを誇っている。

今後はこの委託事業と併せて、同社独自でアルミニウム

以外の金属を利用したスパッタリングターゲットの製造にも取り組み、事業の強化を図りたいと考えている。

## 独自の技術で新たな事業へ展開

## 新たな事業へ展開

また同社には、精密加工技術を活かして動き出した事業もある。それが「はやぶさ」の部品製作をはじめとする宇宙関連産業への参入である。宇宙関連部品の大きな特徴は、軽量化のための薄肉・削り出し加工とその精度である。軽量化には、質量の軽いマグネシウム合金を使った部品が必要となるが、その加工には高度な技術が求められる。難削材と呼ばれるマグネシウム合金を、わずかな数ミリほどの厚さまで削り出すのは容易なことではない。しかし、アルミニウム加工で培った同社のノウハウは、複雑な形状の製品加工を可能にしている。

さらに、電気と機械の技術や知識を融合させた自社製品の研究開発も進めている。

新規事業は、結果が出るまでに相当な時間

を要することが多い。しかも結果が出ないことさえある。

しかし、近藤社長は「チャレンジしていかねば何も生まれない」と前を向く。

「和の精神をもって企業の一流化をめざす」をテーマとして、課題や問題点を一つずつ丁寧に解決し、新たな事業展開を図る同社の挑戦は、社員一丸となった取り組みによって成し遂げられているのだ。

サイクスでは、新規事業や新商品の開発でお悩みの中小企業経営者の皆さんに対する、問題解決に向けたアドバイスや助成事業の検討などの積極的な支援に取り組んでいます。ぜひ、ご利用ください。



【写真】①近藤社長(左)と篠原西条事業所長、②西条事業所、③液晶用スパッタリングターゲット、④アルミニウム合金製薄肉削り出し品

## サイクスからの事業案内

入会企業を募集中！  
グループサイクス

西条産業情報支援センター(サイクス)では、サイクスが提供する各種サービスの活用や、会員相互の交流によるさまざまな情報・知識の交換などを通じた幅広いネットワークの構築、さらには企業間のマッチングによる新規ビジネスの創出等によって企業の経営活動の支援を目的とした「グループサイクス(G-SICS)」を組織しています。入会を希望される企業や個人を随時募集していますので、ぜひ加入のご検討をください。

## ■年会費

○企業(団体を含む) 10万円  
ただし、西条市内に本拠を置く小規模企業(団体)は、当分の間半額とします。  
○個人 3万円  
創業を志す個人が対象

## ■申込み・問合せ

産業情報支援センター  
TEL 0897-53-0010